



執行役常務
機能材料事業本部長

山下 祐行

お客様のアイデアと社会の発展を 実現するトータルソリューション

Initiative for a Total Solution
that Realizes the Customer's Idea and
Contributes to the Development of Society

1. 社会、市場動向の変化と期待

近年わたしたちを取り巻く世界は新たな局面を迎えています。その中心にあるのはわたしたちの日々の消費・生産活動の記録・蓄積による情報量の増大と、情報をつないで整理することで未知の問題を発見し解決できるようになっていることです。これまで成し得なかったサービスが実現し、社会に役立てられることが大いに期待されます。

現在に至るまで、わたしたちの暮らしを便利にするさまざまなサービスをパーソナルコンピュータ、携帯電話、スマートフォン等が実現してきました。その進化を支えてきた情報通信技術の高まりはますます加速化しています。そしてその適用領域は情報ネットワーク、クラウドのみならず、自動車、産業ロボット、医療分野等へと拡がり、あらゆる分野で新たなサービスが生まれようとしています。この流れはまだまだ始まりに過ぎないと考えています。

2. 日立化成の起源と新産業発展への貢献

1940年後半にベル研究所で点接触トランジスタが発明され、1950年代後半に初めて集積回路が登場すると、半導体産業は世界中で瞬く間に大きく成長し、わたしたちの暮らしを豊かにしてきました。

日立化成は、1962年に日立製作所から分離独立して、50年以上の時間が経過するわけですが、その源流製品であるモーター用絶縁ワニス、積層板、絶縁ガイシ、カーボンブラシは1912年の日立製作所創立まで遡り、そこから派生した数多くの製品の研究開発、製造を今日まで続けて現在に至っております。この歴史の中で当社は、半導体ウエハ上に回路を形成する工程で使用するCMPスラリー、回路形成したウエハを保護、固定するダイアタッチフィルムや半導体用封止材、パッケージ基板など、現在の情報通信産業を支える数多くの製品を生み出し、その中で培った材料、プロセス、評価技術は現在も半導体の高集積化、小型化に貢献しています。

3. お客様のアイデアを実現するトータルソリューション

わたしたち日立化成グループのミッションは、「時代を拓く優れた技術と製品の開発を通して社会に貢献する」ことでもあります。新たな社会の課題解決に

取り組み、社会に新たな価値を提供し続けることで、当社は持続的な成長を図っていかねばなりません。これを実現するための鍵は情報であると、わたしたちは考えます。例えば、地球規模の気候変動、市場や消費者のトレンド、グローバルな物流・交通網、従業員の健康管理と生産性等といったあらゆる情報が、社会の課題を発見し、理解するスタートであると思うのです。こうした情報を収集、管理・分析し、リスクへの備えや課題解決へと導く仕組みを構築できれば、社会の発展に企業は貢献できるはずで。現在、IoTや5Gに代表される次世代無線通信技術の発展によって、このプロセスが大きく変わり始めているのは、皆様ご承知の通りです。このような技術を広く社会に導入していくには、半導体デバイスなどのハードウェアに加え、膨大なプログラムのソフトウェアが必要となります。さらに、ハードとソフトを組み合わせ、複雑なシステムをユーザーフレンドリーにデザインし、タイムリーに優れたサービスに結びつけるかがポイントになっています。

一方、わたしたちのお客様がこうした開発に取り組む場合、個別のハードウェアの組み立てだけでなく、高度なソフトウェアやシステムの構築、優れたデザインの製品やサービスを誰よりも早く生み出すことが必要です。その結果、半導体の実装においても、開発すべき製品項目の数が増大する上、開発工程の管理が複雑になり莫大な開発予算と時間を要するようになっていきます。お客様が制約された時間や予算の中で「すぐに試したい、あんなものが欲しい、こんなことがしたい」というアイデアの種がせっかく生まれても、すぐ実行に移すことは難しいのが現実です。

当社はこのようなお客様の開発現場の実情を踏まえ、お客様が自らのアイデアを実現しようとする時に、①その課題を明確にすること、②必要な技術にアクセスできること、そして③その検討に必要な場が構築されていることが必要だと考えています。そして、お客様の開発現場での悩みに応えるべく、これまで独自に培ったプロセス、部品、材料技術に加え、優れた技術を有する企業との協創を通じて、わたしたちのトータルソリューションはあらゆる切り口で短期間に実現性の高い提案ができることをめざしています。

今回の日立化成テクニカルレポートでは以上のようなわたしたちの取り組みを具体的にご紹介し、すべてのステークホルダーの皆様に日立化成の将来の事業発展の姿を想像していただけるように工夫しています。

4. 今後の展望

繰り返しになりますが、当社は時代に先駆けた新しい価値を提供し社会の発展に貢献することが使命だと考えています。今後も日立化成グループアイデンティティである“開拓者精神”，“誠”，“和”の醸成を通じて、保有する世界中の経営資源を最適配置し、事業横断的な課題解決に向けたマネジメント、プロフェッショナルな人材の育成、企業の枠を超えた知のネットワークを構築し、社会に貢献できる企業グループとして社員一丸となって成長して参ります。